

北海道マイホームセンターに出かけよう！

マイホームを建てる時、強い味方になるのが住宅展示場です。

理想とする住まいのイメージの参考にしたり、住まいのトレンドをキャッチしたり、ハウスメーカーとの出会いの場になったり。

住宅展示場は家づくりのさまざまな「知りたい」に答え、世界でたった一つのマイホームを実現するサポートをしてくれます。

50年間にわたって北海道の住まいづくりを支えてきた「北海道マイホームセンター」の実例をもとに住宅展示場の魅力や上手な活用方法をご紹介します。



上段左から 旭川北彩都会場/住友林業、札幌会場/積水ハウス、札幌会場
 下段左から 一条工務店、札幌森林公園駅前会場/アーキテックプランニング、札幌森林公園駅前会場/アーキテックプランニング、札幌北会場/日本ハウスHD、旭川北彩都会場

北海道マイホームセンターのあゆみ

- 1973年 ●札幌市東区に札幌会場開設(79年閉場)
- 1975年 ●札幌会場の来場者が開設2年で40万人に
- 1979年 ●札幌市豊平区(現在地)に札幌会場移設
- 1980年 ●「省エネ基準」制定。住宅の気密化が始まる
- 1981年 ●旭川市パルプ町に旭川会場開設(94年閉場)
- 1982年 ●千歳市に千歳会場開設(85年閉場)
- 1983年 ●函館市石川町に函館会場開設(97年閉場)
- 札幌市白石区に白石会場開設(96年閉場)
- 1985年 ●札幌市西区に西会場開設(94年閉場)
- 1988年 ●札幌市中央区に南会場開設
- 千歳市栄町に千歳会場開設(99年閉場)
- 1990年 ●札幌市東区に北会場開設(98年閉場)
- 1992年 ●「新省エネ基準」制定。断熱工法の開発が進み住宅の断熱性能が向上
- 1994年 ●札幌市西区に琴似会場開設(99年閉場)
- 旭川市南7条に旭川会場移設(05年閉場)



モデルハウスも積雪寒冷地の暮らしを意識した仕様に



この頃から断熱性能を高めた木造住宅が造られるように

雪国の家づくりを50年にわたりサポート

北海道マイホームセンターの取り組み

北海道マイホームセンターは、住宅に関する総合的な情報を提供する常設の住宅展示場として、1973年に北海道、札幌市、北海道新聞社、北海道文化放送の共催によって開設されました。当時は木造住宅の断熱基準が定められ、断熱・機密性に優れた住宅の開発が進み始めた時代でした。以来50年にわたり、住宅に関する幅広い情報を提供。積雪寒冷地域の気候に適した住宅の普及を図ることを目指し、北海道の家づくりをサポートしています。

開設50周年を機に

より便利で身近な存在に

北海道マイホームセンターは2023年8月に開設50周年を迎えます。この節目にあたり、さらなる情報提供の多様化とイベントの充実に取り組みます。手始めとして、インスタグラムを通じて情報発信に力を入れていきます。ゴールデンウィークのフェアやイベント情報を始めとして、各モデルハウスの見どころなどをタイムリーにお伝えします。併せて、ウェブサイトから簡単に見学予約できるシステムの導入も検討中です。また、道新文化センターとコラボした初心者向けの連続キャンペーン講座を開催するほか、新築住宅に住み替える時に役立つセミナーなどにも引き続き力を入れていきます。ほかにも50周年を記念した取り組みを計画中です。楽しみにしていってください。



北海道マイホームセンター 事務局長 花井 篤志

将来的には、より使いやすい会場を目指して札幌会場のリニューアルにも取り組んでいきます。理想のマイホームの実現には、事前の周到な検討が欠かせません。次の50年も、必要な情報を家族みんなで楽しく得られる会場で皆様をお迎えできるよう、努力を重ねます。これからも北海道マイホームセンターをご利用くださいますようお願いいたします。



北海道マイホームセンターのInstagramはココから

いろいろ学べて役に立つ 北海道マイホームセンターのココがメリット！！

その4

家を建てた後もいろいろ活用

北海道マイホームセンターは、新しく家を建てる人だけでなく、今の住まいを快適にしたいという人たちのサポートも行っています。リフォームに関する情報提供や暮らしに役立つセミナーなどを開催しているのも積極的に活用しましょう。

その3

家づくりの幅広い情報をキャッチ

北海道マイホームセンターの各会場に設けられているインフォメーションセンターでは、家づくりに対する支援制度の情報提供、住宅用地の情報提供などを行っています。家づくりに関する幅広い情報収集ができるのも住宅展示場の強みです。

その2

北海道に合った住まいを体感できる

展示されているモデルハウスには、北海道の気候やライフスタイルに適した住まいづくりの技術が集まっています。冬の寒さを防ぐ高い断熱・気密性能や北海道の暮らしに合った間取りなど、北海道特有の住まいを体感することができます。

その1

さまざまなモデルハウスを一度に比較できる

北海道マイホームセンターは全道7会場（札幌・札幌森林公園駅前・札幌北・旭川北彩都・函館・帯広・苫小牧）で全82棟のモデルハウスを展示（2023年3月現在）。1つの会場でさまざまなモデルハウスを比較できるのが最大のメリットです。

1996年

●帯広市西4条に帯広会場開設

●札幌市厚別区に森林公園会場開設（13年閉場）

1997年

●函館市石川町に函館会場開設（09年閉場）

●札幌会場リニューアルオープン

1999年

●「次世代省エネ基準」制定。日本の住宅の断熱基準が欧米の最低基準に近づく

2001年

●札幌市東区に東会場開設（08年閉場）

2005年

●旭川市リサーチパーク内に旭川会場移設（19年閉場）

2009年

●札幌南会場リニューアルオープン（23年閉場）

2010年

●函館市桔梗町（現在地）に函館会場移設

2013年

●札幌市厚別区に札幌森林公園駅前会場開設

2013年

●省エネ基準改正（平成25年基準）

2019年

●旭川市北彩都地区に旭川北彩都会場開設

2021年

●建築物省エネ法改正。住宅の省エネ基準を守ることが努力義務に

2022年

●苫小牧市柳町に苫小牧会場開設



苫小牧会場にはハウスメーカー6社が出演



社会の高齢化を反映しバリアフリータイプのモデルハウスが登場

住宅展示場見学の基本から応用まで！

北海道マイホームセンターの活用術

たくさんハウスメーカーのモデルハウスが集まる住宅展示場は家づくりに関する情報の宝庫。住まいのトレンドを知ったり、プランニングの参考にしたり、家づくりの段階に応じて活用することができます。自分たちが思い描く理想のマイホームを実現するために上手に、賢く住宅展示場を使いこなしましょう。

住宅展示場見学のビギナーさんはコレをチェック

住宅展示場に行ったけれどモデルハウスの豪華さに目移りして、内容をよく覚えていない、というのがありがちなケース。そうならないために、見学のポイントや心構えを押さえて家づくりに生かすようにしましょう。

1

どんな家にしたいのか 建てる家イメージを考える

住宅展示場に行く前に、まずはどういう家にしたいのかを家族で考えておくようにします。家族構成やライフスタイルを踏まえ、リビングやキッチン、それぞれの部屋などについて、「こんなふうになりたい」という要望を書き出して整理しておく、モデルハウスを見学するときに自分たちが考える住まいのイメージと照らし合わせることでできます。

また、行こうとする住宅展示場にはどのハウスメーカーのモデルハウスがあるのかを事前に知っておくと、見学がスムーズにでき、見たいポイントを絞ることもできます。住宅展示場のホームページなどを参照して、あらかじめ情報を得ておきましょう。



北海道マイホームセンターのホームページから、出展しているハウスメーカーやモデルハウスの情報を事前に確認

2

インフォメーションセンターで モデルハウスの情報と図面を入手

各会場のインフォメーションセンターには、モデルハウスのプラン集（間取り図）や

出展しているハウスメーカーのパンフレットなどが用意されています。最初にインフォメーションセンターに立ち寄って、ハウスメーカーの情報や間取り図を入手しておく、モデルハウスを見学する際に役に立ちます。



間取り図はモデルハウス見学の必需品（札幌会場）



インフォメーションセンターにはハウスメーカーの情報が集約されている（札幌会場）

モデルハウスの 築年数を参考に 未来の我が家の 姿を想像

住宅展示場によっては、新築のモデルハウスばかりではなく、建ててから何年経ったものが含まれているところがあります。中には一部をリフォームしたり、設備を入れ替えているモデルハウスもあるため、我が家が将来どのように変化するのか、どのようなメンテナンスが必要なのかということを考える際の参考にできます。愛着のある我が家で、いつまでも快適に暮らし続けるために、10年後、20年後の未来のことも考えながら家づくりを進めてください。

Column

3

実際に見て、触れて、感じて
気になるモデルハウスを体感

住宅展示場の最大のメリットは、いくつもの住まいを体感できること。ハウスメーカーのコンセプトや得意とする技術の違いによって、モデルハウスにもそれぞれ個性があります。室内に足を踏み入れたときの印象、室内空間の広さの感じ方の違い、床や壁などの質感、水回りの設備など、実際に見て、触れて、感じる大切です。

また、同じ面積でも、造りや内装によって広さの感じ方が違ったりすることがあります。いろいろな体感してみてください。自分たちの暮らしに合った住まいがだんだん見えてきます。



収納の大きさや使い勝手なども実際に確認（一条工務店、札幌会場）



壁や床の質感も住まいの大切な要素（ホーム企画センター、札幌会場）

4

見学は間取り図を見ながら
気づいたことは必ずメモして

モデルハウスではインフォメーションセンターで入手した間取り図を見て、部屋の配置や設備などを確認しながら見学するようにします。さらに気づいたことを間取り図に書き込んでおくと、後で振り返るときに役に立ちます。



モデルハウスの間取り図やカタログと見比べながら見学（住まいのクワザワ、札幌会場）

5

自分たちに合った
ハウスメーカー選びの場にも

大切な家づくりのパートナーを選ぶとき、参考になるのがモデルハウスでの対応です。話を真摯に聞いてくれたり、丁寧な説明を受けたりすると、そのハウスメーカーへの信頼が高まります。また「この人になら家づくりを任せることができる」と思える営業担当者との出会いの場になることもあります。

そのハウスメーカーが何を大切にしたら家づくりをしているのかを知ること、パートナー選びの目安になります。ハウスメーカーの姿勢や信頼性を見極める上でも、モデルハウスを見学することはとても大切です。



モデルハウスでの対応もハウスメーカー選びの判断基準の一つ（ホーム企画センター、札幌会場）

6

見学後は、家族で意見交換
理想の住まいを具体化

住宅展示場から帰ってきたら、見学したときのメモや間取り図を見ながら、どのモデルハウスのどこが良かったのかを、家族で話し合ってみましょう。そのときに、家の雰囲気、外観、インテリア、間取り、設備など、細かな項目に分けて意見を出し合ったり、比較したりすると、住みたい家のイメージがより明確になります。

冬の住み心地を知るために ぜひ積雪時の見学を

Column

北海道の住まいは寒さや雪に強いことも大切な条件です。住宅の性能によって、冬の暮らしが大きく左右されるため、厳冬期の住まいの状況も知っておきたいところ。冬のモデルハウスを見学して、室内の暖かさや窓際の断熱性、暖房の仕組み、屋根の形状による積雪の違いなどを確かめると安心です。



窓際の暖かさを体感（住まいのクワザワ、札幌会場）



冬季の見学も大切（ミサワホーム北海道、札幌会場）

住宅展示場を より上手に 活用したいなら

建てたい家のイメージが見えてきたら、気になったモデルハウスを再訪してみましょう。今度は見学する部位やテーマを絞って細部まで確認。気に入ったアイデアをプランニングに生かしていきます。

8

断熱性能や省エネ性能、工法など
住まいの性能も見逃せない要素

大切なマイホームで長く暮らすには、住まいの性能も重要になります。各ハウスメーカーには、それぞれ得意とする工法や耐震性能、断熱性能などがあり、モデルハウス内にそうした技術を解説するコーナーを設けているところもあります。また、冬季の暖房費の負担が大きい北海道では、エネルギー機器の選択も重要なポイント。モデルハウスで省エネ設備などの情報をつかんでおくと、将来の暮らしやすさにつながります。



断熱性能の仕組みを解説した展示コーナー
(一条工務店、札幌会場)



耐震性能や工法などを解説している「テクノロジーギャラリー」
(ミサワホーム北海道、札幌会場)

7

2回目以降の見学は部位別にチェック

家族の意見をまとめて、気に入ったモデルハウスを絞り込んだら再度見学します。このとき、初回の見学で気になった部分のリストを作り、細部まで確認していくとスムーズに回ることができま

す。理想とする住まいのイメージが見えてきたら、具体的な家の造り（プランニング）を考えます。このときに役に立つのが「リビング」「キッチン」「玄関」など、部位を決めて見学する方法。見学ポイントを絞ることで違いを比較しやす

くなります。また、さまざまなモデルハウスのいくつかをピックアップしてプランニングに反映するタイミングにもこの方法が役に立ちます。



玄関の造りや収納も重要なポイント
(一条工務店、札幌森林公園駅前会場)



キッチンのレイアウトだけでも多種多様
(三愛地所、札幌北会場)

9

標準仕様かオプションなのか
細かな条件の確認もしておく安心

ハウスメーカーでは部材や設備機器がある程度決められた「基本プラン」を設定しているのが通常です。一方、モデルハウスはハイクラスの部材や設備が使われていることが多く、同じものを選ぶようにするとオプション仕様になり、予算がオーバーしてしまうケースがあります。モデルハウスの仕様が標準なのかオプションなのか、見学時に確認しておくようにしましょう。



どこまでが標準仕様なのか、あらかじめ確認しておく安心
(一条工務店、札幌会場)

ココが知りたい

「北海道マイホームセンターQ&A」

北海道マイホームセンターの気になる疑問・質問にお答えします。
モヤモヤや不安を解消して、気軽にモデルハウスの見学に出かけましょう。

Q 料金はかかるの？

見学も駐車場もすべて無料です。入場受付などありませんので、自由に見学できます。

Q マイホームを建てる予定はないけれど見学だけでもいいの？

「どんなモデルハウスがあるのか見てみたい」「将来の参考にしたい」という場合でも、もちろん見学できます。モデルハウスに備えられた最新の住宅設備やインテリアコーディネートなどは、リフォームの時の参考にもなります。

Q モデルハウスの内部を撮影したいのだけど

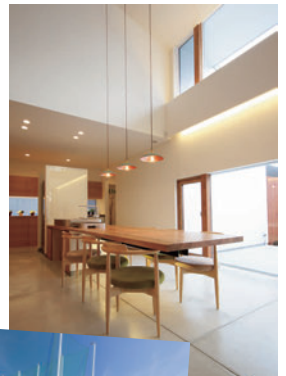
撮影については、モデルハウスやハウスメーカーごとにルールがあります。撮影をしたいという場合は、モデルハウスの担当者に声をかけて確認するようにしましょう。

Q 予約はあるの？

原則としてモデルハウスの見学に予約は必要ありません。ただし、他の見学者との重複や混雑を避ける観点から、現在は多くのハウスメーカーが事前予約を推奨しています。特に、土日祝日は混み合う可能性もあるため、モデルハウスの案内をしてもらいたいときや、確実に担当者の話を聞きたい場合は、見学を希望するモデルハウスに電話やホームページで予約を入れておくとう安心です。

Q 子ども連れで見学してもいいの？

もちろんお子さんと一緒でも大丈夫です。モデルハウスによっては子供用のプレイコーナーを備えているところもあるので、安心して見学できます。



ミライエホーム、札幌会場



札幌森林公園駅前会場で行われた「犬猫譲渡会」



左/日本ハウスHD、旭川北彩都会場 右/苫小牧会場

暮らしに役立つセミナーや犬猫譲渡会 多彩なイベントにも注目

北海道マイホームセンターでは、家づくりに限らず、地域の方々の暮らしに役立つ取り組みを行っています。それぞれの会場が工夫を凝らし、お子さんと一緒に楽しめるスタンプラリーやキャラクターショー、暮らしを快適にする方法を学ぶセミナー、さらには犬や猫の譲渡会、ペットの写真展、キッズお絵かきコンテストなど、年間を通してさまざまなイベントを開催。家族で参加できるイベントが多いので、気軽に足を運んでみましょう。



人気の高い「収納術セミナー」(札幌会場)